

# 鶴岡市国際化推進プラン（概要版）

## 1 推進プラン策定の目的と位置づけ

### 【1】推進プラン策定の背景

本市は、長年にわたり草の根の国際交流の推進と国際理解、多文化理解促進の取組みを進めてきました。近年はグローバル化の進展、外国人住民の増加や多国籍化、訪日外国人旅行者の増加など多文化共生を取り巻く社会経済情勢が大きく変化し、本市においても同様の傾向が加速しています。

また、「SDGs 未来都市」の選定（令和2年度）により、国籍に関わらず市民が多様な価値観を認め合い、物心の豊かさを向上させながら、暮らしやすさを実感できるまちづくりを進めています。

### 【2】推進プラン策定の目的・趣旨

本市の国際化対応への理念・基本目標を明らかにし、体系的に施策を推進していくために、「鶴岡市国際化推進プラン」を策定し、多様な文化を尊重し、互いに認め合う多文化共生のまちづくりの推進と国際化対応の充実に取組みます。

### 【3】鶴岡市の国際化の現状と課題

#### ①生産年齢人口の減少

本市の人口は、2023年12月末現在で118,692人となっており、将来推計人口では、2040年には89,191人まで減少すると予測されています。全国的にも少子高齢化による人材の不足が深刻化しており、国は、外国人材の受入れに向けた新たな制度の創設について検討を始めています。本市においても、外国人住民の増加を見据えた施策を検討していく必要があります。

#### ②外国人住民数の増加と国籍・在留資格の多様化

本市の外国人住民数は2023年12月末現在864人で、今後も増加が見込まれます。国籍や在留資格の多様化により、言葉の問題をはじめ、生活上の様々な問題が発生しており、きめ細かな対応が必要となっています。また、外国人住民の増加によって、地域住民と外国人住民が触れ合う機会も増加することから、異文化理解や国際感覚の醸成が進むよう取り組むことが必要です。

#### 【国・県の動き】

##### ■国：総務省

地方公共団体における「多文化共生の推進に係る指針・計画」の策定に資するため「地域における多文化共生推進プラン」を令和2年9月に策定

##### ■山形県

国際情勢等の内外の環境変化等を踏まえ、より一層効果的な国際関係施策を推進するための「第2次山形県国際戦略」を令和2年4月に策定

### ③国際交流センター「出羽庄内国際村」の取組

本市では、国際交流センター出羽庄内国際村を拠点として、イベントや語学講座などを通じ幅広く国際交流・国際理解の情報・機会・場所を提供するとともに、外国人住民に対する日本語の学習指導、生活相談などを行ってきました。

近年は、日本人同様に外国人も高齢化しており、介護、年金など将来の生活への不安を抱える方も増えていることから、外国人住民のサポート体制を整え、ライフステージに応じた支援を図る必要があります。また、仕事や旅行で本市を訪れる外国人も増加が見込まれるため、これまで培ってきた外国人や外国言語に関する知識を生かした外国人観光客の受入れへの協力などが求められています。

### ④海外との交流事業の進展

長年続けてきた海外友好都市との交流に加え、近年は、ユネスコ創造都市加盟に関する交流や東京オリンピック・パラリンピック、国際バドミントンU16庄内をきっかけとした交流など、多くの市民、団体が様々な国の人々と活発な交流を行っています。

今後も、これまでの国際交流活動を生かし、次世代を担う人材を育成し、地域の活性化や産業振興をさらに推進していく必要があります。

### ⑤外国人観光客の増加

市は、DMO「DEGAM鶴岡」と連携し、多言語ガイド育成、インバウンド向けの情報発信及び旅行商品化に力を入れてきました。加えて、観光案内所では、鶴岡駅前国内外の観光客に多言語での観光案内を行っています。

今後、本市を訪れる外国人観光客の増加を見据え、外国人観光客を受け入れる環境整備や、海外への更なる情報発信強化等の取組が必要です。

【4】プランの位置付け 鶴岡市第2次総合計画を上位計画とする個別計画とする。

【5】プランの期間 令和5年度～令和10年度（6年間）

【6】策定主体 鶴岡市

## 2 推進プランの策定過程

### 【1】推進プラン（案）の検討・協議

令和5年4月に鶴岡市国際化推進プラン検討委員会を立ち上げ、5回の委員会において国際化に対応する施策を協議した。

令和5年4月	第1回庁内検討委員会	素案（骨子案）協議
5月	第2回庁内検討委員会	推進プラン（案）協議
7月	第3回庁内検討委員会	推進プラン（案）協議
10月	第4回庁内検討委員会	推進プラン（案）協議
令和6年1月	第5回庁内検討委員会	推進プラン（案）最終協議

### 【2】推進プラン（案）に向けた意見集約

#### ★鶴岡市外国人住民アンケート・・・774人へ意識調査（回答数212件）

- ・出羽庄内国際村の取組みを知らない。学ぶ意欲はあるが、日本語を習得するための支援が必要。
- ・災害や医療など命に関わることについて、外国語やさしい日本語での情報が必要。

#### ★ワークショップ（第1回）・・・市内在住の外国人を対象に意見等集約（14人参加）

- ・日本人（地域住民）との交流や活動の機会の創出。市主催事業やイベント等の催しなどの情報が入らない。
- ・差別（日本人の行動や言動）を感じることもある。

#### ★ワークショップ（第2回）・・・外国人関係者を対象に意見等交換（11人参加）

- ・情報発信言語はなるべく多言語（やさしい日本語を含む）が望ましい。外国ルーツの子どもは、大人とは会話できるが、子ども同士の交流は難しい。

#### ★多文化共生のまちづくり円卓会議・・・在住外国人、高校生、自治会代表者等の意見交換（12人参加）

- ・英語が理解できない外国人も多い。英語や多言語よりも「やさしい日本語」の方が理解しやすい。
- ・差別（行動や言動）を感じることもある。地域の方々の理解と子どもへの教育に力を入れるべき。

#### ★パブリック・コメント実施・・・意見総数30件（8人）

国際化推進プランに反映

### 3 推進プランの概要

基本理念	基本目標	施策の方向性	主な施策（取組例）	ページ
<p>多様な人々が互いに認め合い、共に活躍し、 誰もが幸せを実感できるまち 鶴岡</p>	<p>1 多文化共生のまちづくり</p>	(1) やさしい日本語を含む多言語支援の充実	①外国人にも分かりやすく情報を伝える「やさしい日本語」の普及 ②行政情報及び相談窓口等の多言語対応 ③より専門性を高めた日本語講座の開設	11
		(2) 暮らしやすさを実感できる生活環境の充実	①専門機関と連携した生活相談の実施 ②災害時の多言語支援や外国人ボランティア研修の開催 ③日本語での学習が難しい児童生徒への対応	11
		(3) 外国人材の受入れ支援の充実	①事業所向けセミナーや研修会などの開催 ②外国人受入れ団体との連携 ③留学生の市営住宅への入居	11
		(4) 多文化共生環境の充実	①ICTを活用した多言語相談等の実施 ②プライバシーに配慮した相談環境の整備	12
	<p>2 地域活性化とグローバル社会への対応</p>	(1) 多様な国際交流の促進	①子どもたちや友好団体等による友好都市、姉妹都市との相互交流 ②海外諸都市や団体等との交流事業の実施 ③食・食文化を生かした地域づくり事業の実施	12
		(2) 国際化社会を担う人づくり	①小中学校における国際理解教育の実施 ②国際理解講座や多文化共生講座等の開催	12
		(3) 国際交流環境等の充実	①ICTを活用した国際交流の実施、情報発信強化 ②食・食文化を含む異文化交流に向けた環境の整備	12

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <b>多様な人々が互いに認め合い、共に活躍し、          誰もが幸せを実感できるまち 鶴岡</b> </p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <b>3 外国人観光客の          受入れ推進</b> </p>	(1) 鶴岡市の魅力発信による認知度の向上	① SNS等を活用した情報発信の強化 ② 外国人向け体験コンテンツの充実	1 3
		(2) 広域観光連携の強化	① 関係機関や近隣自治体等と連携したプロモーションの実施 ② 精神文化、食、歴史など共通テーマによる体験コンテンツの開発	1 3
		(3) 外国人観光客の受入れ環境の充実	① 観光施設や宿泊、交通、飲食、商店街等での外国語対応の支援 ② 外国語観光ガイドの育成・充実 ③ 二次交通の充実と利便性の向上	1 3
		<p style="text-align: center;">プランの推進体制</p>	1 連携・協働	1 4
			2 出羽庄内国際村を拠点とした国際化の推進	
			3 多様な人材の活用	
	4 庁内連携の体制			
	<p style="text-align: center;">プランの進捗管理</p>	プランを計画的かつ総合的に推進するため、連携体制・組織体制を整備し、事業の取組状況の把握と点検、課題整理、評価を行い、継続的な改善を図る。	1 4	